



令和7年度

牛込二中だより

【第2号】

発行日 令和7年5月9日

発行 新宿区立牛込第二中学校
校長 小泉雅一



Web <https://www.shinjuku.ed.jp/jh-ushigome2>

【教育目標】 自ら学び、考え、行動する人 思いやりと責任感のある人 健康で心豊かな人

着任してからの一か月

時の流れは早いもので、私が本校に着任して一か月が過ぎました。始業式や入学式などの学校行事をはじめ、各学級では専門委員や係の選出、そして様々な健康診断など忙しい日々が続きました。しかし、生徒は、そんな忙しさを感じさせず、授業はもちろんのこと、放課後の部活動など、何事にも前向きに取り組んでいます。そして、給食後のお昼休みでは、校庭や体育館で遊んでいる生徒も多く、元気な姿に喜びを感じます。

さらに嬉しいことは、私が校舎内を散歩しているときや校長室の扉を開放しているとき、「こんにちは!!」「さようなら!!」と気持ちよく挨拶をしてくれる生徒が多いことです。また、学校の外で生徒と出会ったときも、「あっ、校長先生だ!!」の前触れと共に挨拶をしてくれます(ちょっぴり恥ずかしいですが…)。そんな、当たり前のように思える些細な出来事でも嬉しく、充実した日々を過ごさせていただいています。

生徒のみなさん。この大型連休は、どのように過ごしましたか？ リフレッシュもできましたか？

今月は、運動会があります。私は、みなさんが活躍している姿を見るのが楽しみです。みなさんの中には運動が得意な人もいれば、苦手な人もいるのではないのでしょうか。“様々な人がいるからこそ、大変なこともあるけれど、やっぱり楽しい”。そんな経験を積んでほしいです。お互いのことを理解し合い、みんなで協力し合い、思い出に残る学校行事の一つにしてください。期待しています。

生徒会長から各専門委員会の委員長へ

4月21日(月)は、生徒が主体となって委嘱式が行われました。

生徒会長には私から、各専門委員長には、生徒会長から委嘱状を渡しました。

また、生徒会長を含め、各委員長からは、所信表明がありました。朝、授業が始まる前の限られた時間でしたので、一人ひとりが話す言葉は少なかったですが、全校生徒の前で話している姿から、頼もしさを感じました。「学校は生徒が主役。」と言いますが、ここでも、輝く生徒の姿を見ることができました。どうぞ、みなさんと、牛込第二中学校を盛り上げていきましょう。

生徒会長から各専門委員長へ



意気込みを話す代表生徒



校内を散歩していたら… “GIGA タブレット端末の利活用”

＜図書室の蔵書検索＞



探している本が、図書館のどの書庫にあるのか、蔵書検索機能を使って調べています。



＜筆記用具として＞



授業で学習した内容は、タブレット端末に記録しています。

みんなの“パワーの源”は…

給食調理室の前の壁に大きな献立表があり、毎週栄養士さんが書いてくださっています。

この献立表は、生徒が頻繁に利用する階段からよく見える位置にあり、献立表の前で立ち止まってメニューを確認している生徒の姿を多く見掛けます。もちろん、生徒だけではなく、時には、先生方も(私も)、よく眺めています。文字が読みやすいだけでなく、レターリングされていたり、挿絵が描かれていたり、視線を引き付ける魅力があります。

「今日は、味噌ラーメンかぁ。よし!! がんばろう!!」

そんな気持ちを抱き、教室へ向かう生徒も多いのではないのでしょうか。給食も手書きの献立表も、みんなのパワーの源です。ありがとうございます。



給食調理室の前に掲げられている献立表

「その拍手には、どのような気持ちを含めていましたか？」

5月2日(金)は、前期生徒総会が実施されました。ここでも、真剣に取り組む生徒たちの姿に感心しました。

私が嬉しかったのは、承認をするときの拍手の大きさと、たくさんの質問が出たことです。中には、要望もありました。しかも、2年生や3年生だけでなく、1年生も疑問をクリアするために、自分たちの要望を聞いてもらうために全校生徒の前で発言していました。これこそ、真剣に取り組んでいる証ですよ。議案書をしっかり読み、委員長の説明をよく聞いていたからこそ出来たことだと思います。みなさんが、“自分たちのこと”と捉えていたからだと思っています。

閉式の後、“校長先生のお話”の時間をいただいたので、次のような質問を投げかけてみました。

「活動計画の承認を求められたとき、その拍手には、どのような気持ちを含めていましたか？」

その質問の意図は、拍手をしたからには、代表生徒に任せるだけでなく、みなさんでより良い生徒会活動、委員会活動にしたいという期待があるからです。拍手には、代表生徒に向けて「頼んだよ。」という思いと、自分自身に向けた「一緒に頑張ろう。」という決意が込められていたと、私は受け取りました。

どうぞ、みなさんで、多くの達成感を得て、より充実した中学校生活にしてください。応援しています。

生徒会本部役員のみなさんをはじめ、各専門委員会の委員長、議長団のみなさん。準備なども含め、お疲れ様でした。そして、全校生徒のみなさん。素敵な時間を、ありがとう。

<一人ひとりを大切にしたい。>

「一筋の矢は折るべし、十筋の矢は折り難し」ということわざがあるように、一人の力は微力でも複数の人が力を合わせれば、非常に強い力を発揮することができます。学校は集団生活の場です。みなさんが力を出し合って、より良い中学校生活にしましょう!!。

また、大半の人が頑張れば、集団として結果が出せることもあります。誰かがカバーしてくれているからこそ成り立っているのも社会です。牛二中生のみなさんは、一人ひとりの力の差はあるにせよ、他人任せにするのではなく、自分自身が出来ること、やるべきことを考えて行動してみてください。みなさんで達成感を味わってほしいです。

